

障害者雇用分科会における 2018 年度目標の評価について（案）

2018 年度の目標として障害者雇用分科会において設定した年度目標について、当該分科会が実施した評価の結果は、概ね以下のとおりである。

（障害者雇用分科会において設定された年度目標の動向）

○ ハローワークにおける障害者の就職件数について

〔2018 年度目標〕	前年度（97,814 件）以上
〔2018 年度実績〕	102,318 件

2018 年度の実績は 102,318 件で、前年度から 4,504 件増加となり、目標を達成した。これは、2018 年 4 月 1 日から法定雇用率引上げ（民間事業主について 2.0%→2.2%）が行われた中で、企業における障害者雇用への理解が進んでいること、就職を希望している障害者が増加していること、関係機関との連携をはじめとした各種の障害者支援等が一定の効果を上げていることなどが要因と考えられる。

○ 障害者の雇用率達成企業割合について

〔2018 年度目標〕	前年度実績と比較して 1.5pt 以上
〔2018 年度実績〕	集計中（2019 年 6 月 1 日時点）

2019 年の障害者雇用状況報告（2019 年 6 月 1 日時点）の結果を踏まえて分析する予定。

○ 精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者のうち、就職に向けた次の段階へ移行した者の割合について

〔2018 年度目標〕	73.4%以上
〔2018 年度実績〕	74.5%

2018 年度に、精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者のうち、就職に向けた次の段階へ移行した者の割合は 74.5%であり、目標である 73.4%を上回った。

精神障害者雇用トータルサポーターに対して、目標及びその進捗を意識した業務実施を指示するとともに、経験交流会の開催により、支援ノウハウの共有を図るなど、支援の質の向上を図るための取組が一定の効果を上げてきていること、また、事業主に対する相談援助にも注力するなど、総合的な支援を実施してきたことなどが要因と考えられる。